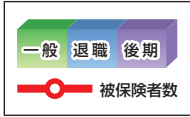
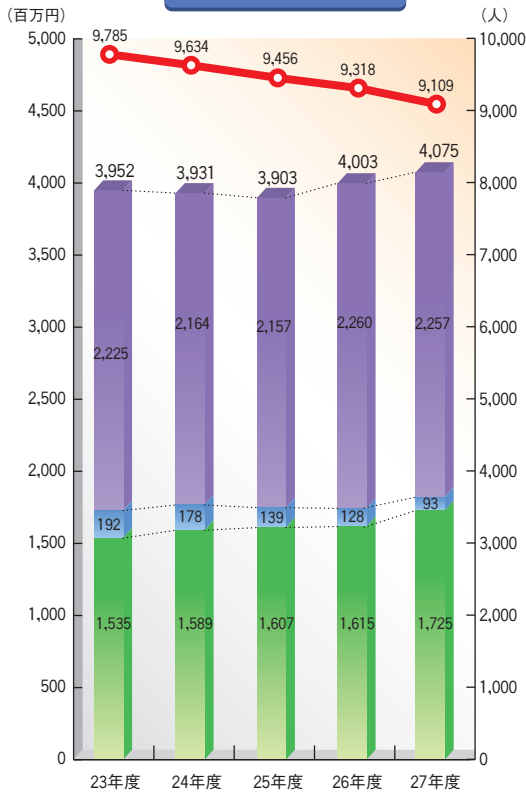


那珂川町

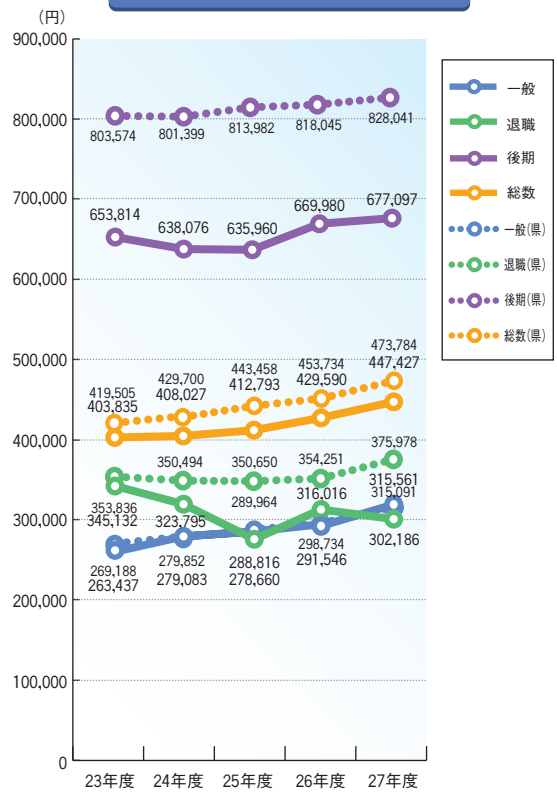
那珂川町



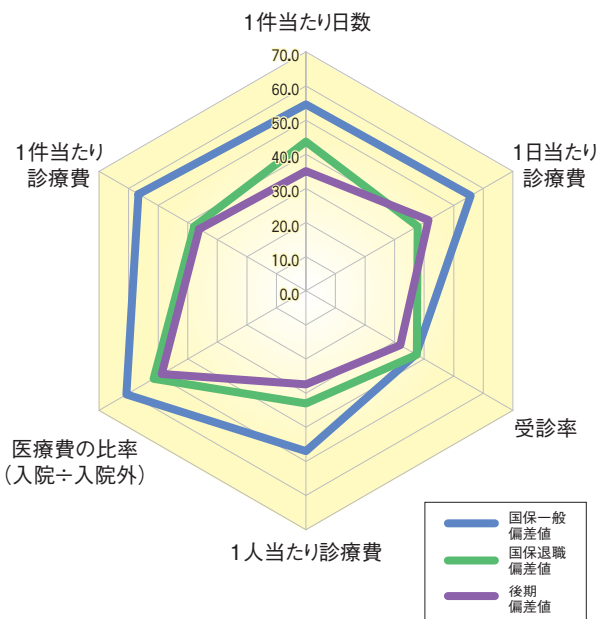
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

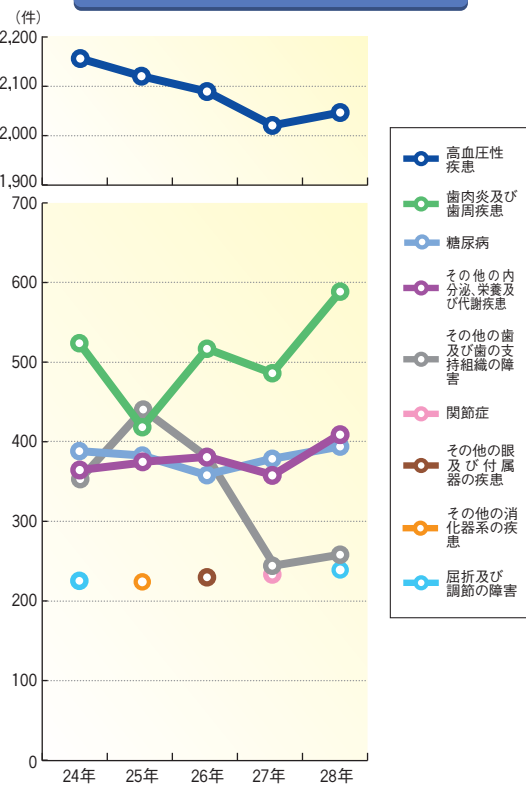


平成27年度 3要素と医療費諸費(県平均との比較)

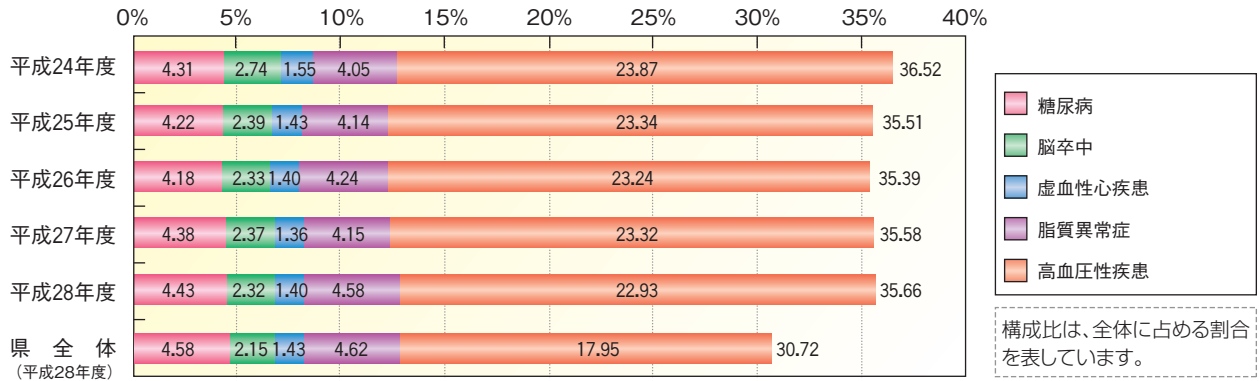


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

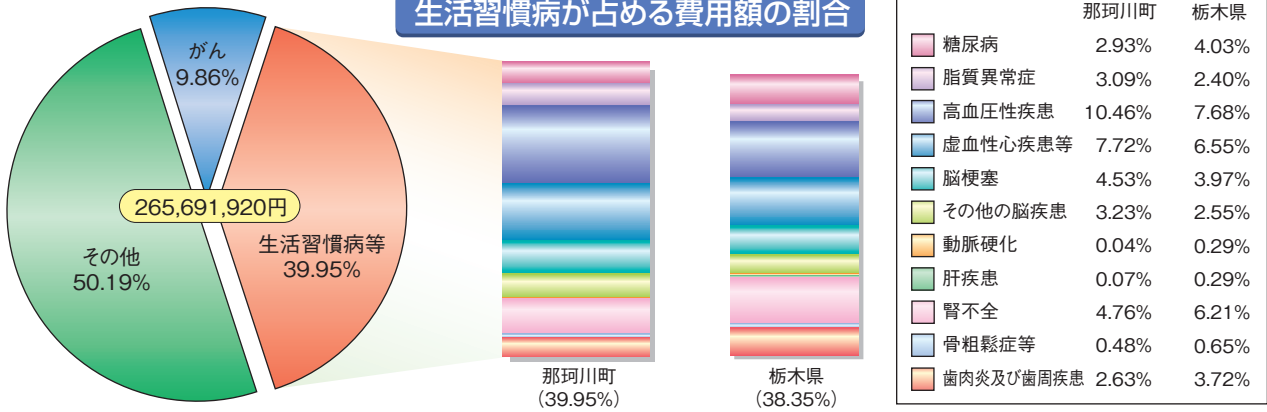
多受診疾病上位6位の推移



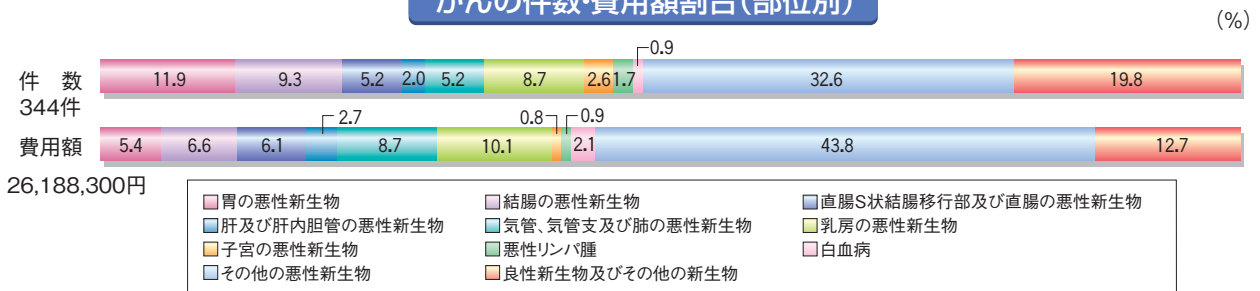
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



那珂川町の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成27年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般1,725,171千円(106.8%)、退職93,073千円(72.7%)、後期2,257,217千円(99.9%)で、全体では4,075,462千円(101.8%)と増加している。()は前年度との比較。

平成27年度平均被保険者数は9,109人で、内訳は一般5,467人、退職308人、後期3,334人である。前年度比較すると全体で97.8%と減少している。

また、平成27年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は447,427円(17,837円増)、一般は315,561円(24,015円増)、退職は302,186円(13,830円減)、後期は677,097円(7,117円増)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、一般は受診率、1人当たり診療費を除きいずれも県平均を上回り、退職は医療費の比率が県平均を上回り、後期は全ての項目において県平均を下回る偏差値となっている。

★疾病の状況

平成28年5月診療分の件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位その他の内分泌・栄養及び代謝疾患、4位糖尿病、5位その他の歯及び歯の支持組織の障害、6位屈折及び調節の障害で、中でも2位歯肉炎及び歯周疾患の費用額は前年比1.38倍、3位のその他の内分泌・栄養及び代謝疾患の費用額前年比1.54倍、6位の屈折及び調節の障害の費用額は前年比1.58倍と増加した。

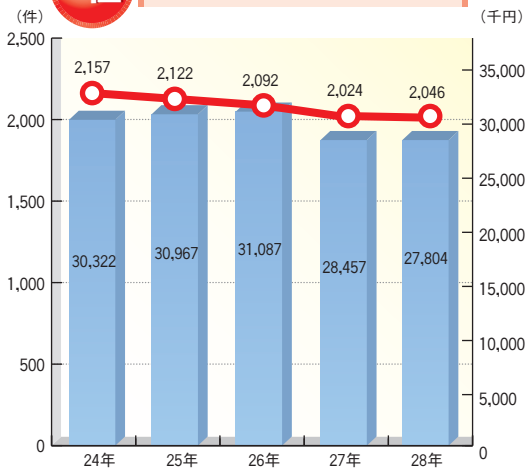
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ5疾病全体の構成比はかなり高く、中でも高血圧性疾患は高い構成比となっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成28年5月診療分の総費用額が265,691,920円で、がんが9.86%、生活習慣病関連が39.95%を占めている(県全体 がん12.31%、生活習慣病関連38.35%)。費用額が占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患10.46%、虚血性心疾患7.72%となっている。

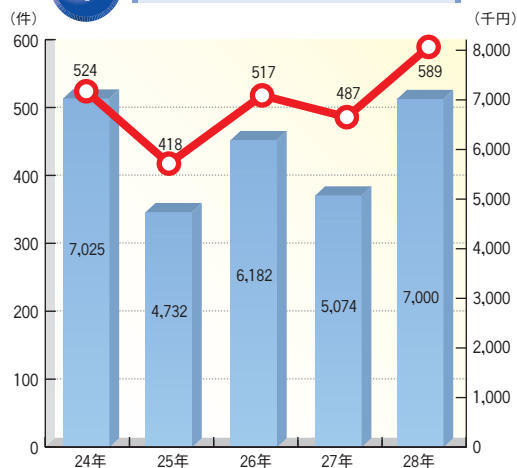
がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では胃の悪性新生物、結腸の悪性新生物、乳房の悪性新生物、費用額では乳房の悪性新生物、気管・気管支及び肺の悪性新生物が高い割合を占めている。

多受診疾病 上位6の年次推移

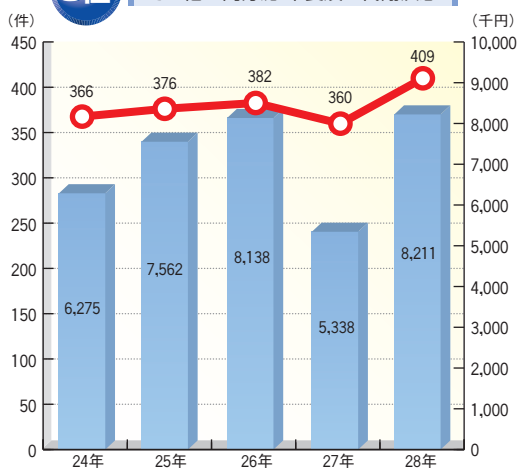
1位 高血圧性疾患



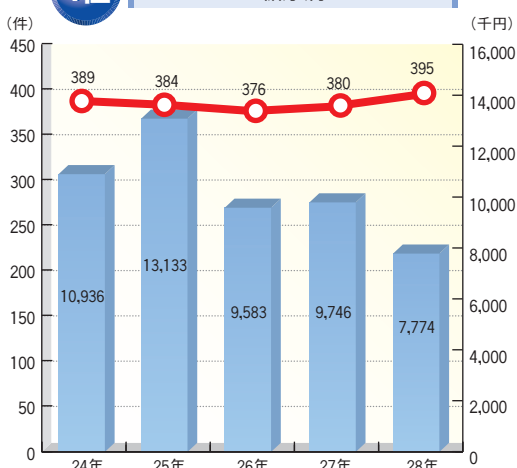
2位 歯肉炎及び歯周疾患



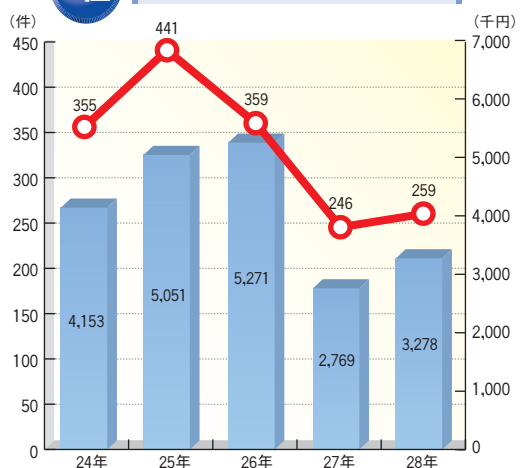
3位 その他の内分泌・栄養及び代謝疾患



4位 糖尿病



5位 その他の歯及び歯の支持組織の障害



6位 関節症

